



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2013 vol.3

E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

『ER.F.C.清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました!

今回の清里ミーティングも多数の皆さんの御参加と御協力の下、無事に開催することができました。ありがとうございました。

まずは連日の東京モーターショー対応でお疲れのさなかに原稿をくれた会長のあいさつから・・・



清里ミーティングにご参加のみなさん、無事にお帰りになったでしょうか。おかげさまで今年の清里ミーティングも無事に終えることができました。ありがとうございます。

朝、早く見とかないと午後には富士山見えなくなっちゃいますよ、とか言ってたのに解散までずっと見えてましたね。天気にもまれて本当に気持ち良い一日を大好きなクルマとみなさんとでいっしょに過ごすことができ本当に楽しかったです。みなさんも楽しんでいただけましたでしょうか?

またお会いできることを楽しみにしています。おやすみなさい。

(ひでまる)

では、早速午前の部を仕切ってくれたたかねくんの報告を。

毎回、清里のゲストには絶大なるコネクション!? を頼って、J58G 広島の前田会長にお願いしています。「来年(2013年)はマツダデザイン本部長の前田育男さんで行きましょう!!」とお話していたのが、去年(2012年)の清里ミーティング開催前日のことでした。

2012年の清里MTGが開催された翌月にはすぐに動いていただき、その時点でほぼ実現できそうな運びとなっていました。いつも有り難うございます!! これもひとえに佐竹さんのおかげです!!

2013年のゲストに前田さんをお招きする狙いは、やはり次期ロードスターのお話が若干フライング気味で聞けるかも!? とヤマを張ってはみたんですが…。現実はそんなに甘くない!! それから日を追うごとに伝え聞く開発スケジュールは熟成に熟成を重ねて? 後へずれていったワケで…。

となると、次期ロードスターの話はもちろんほぼNG!! そこで講演会のお話ではマツダのデザインテーマ「鼓動」を掲げている、デザイントップ「前田さんとはどんな方なのか?」に絞り、“人と成り”が伝わるお話を中心にタツプリ語っていただきました。

講演会当日の深夜0時過ぎまで2時間かけて作ったという“前田ヒストリー”を画像を交えて披露してくれました。

青年時代の原動機がない自転車のお話から始まり、特に中年オヤジ…失礼!! ミドル世代には懐かしい「あるある」話が炸裂(笑)。若い参加者さんには少々「わかるかなあ～わかんねえ～だろうなあ～」的な(そもそもこの表現が分からないか…笑)部分もありましたが、イロイロなエピソードを交えたお話はとても面白く、ガッツリハートをワシ掴みにしておりました。

講演会の詳細はスタッフ見習いの「オキナワ」こと荒川さんのレポートを読んでいただくとして、好きなクルマやバイク、名車、好きなデザインのクルマ…etc。今のマツダデザインが元気印である源が、前田さんにあることが十分に伝わる内容でありました。

さて、となると、気になるのが次期ロードスター。前田さん曰く「期待しててください」という頼もしいお言葉を置き土産に、NC3の白いRSを自らドライブして会場を後にしたのでした。

じゃあ、来年の清里は? ウフフ。私も今から楽しみにしているところです(謎)。

(たかね)



そんなわけで引き続き「おきなわ」さんのレポートをば。

「清里 MTG 前田さん講演」

はじめまして。飛行機と列車を乗り継いで1300キロの沖縄から清里にやってきました、スタッフ見習いの「おきなわ」です。

例年レポートを掲載されていた高根さんのご好意で、僭越ながら講演の様子をレポートさせていただきます。

第一部は、現マツダデザイン本部長である前田さんの講演。

前半では車歴・好きなクルマなど、スライドを用いながらのトークで、前田さん自身を紹介して

頂きました。

フラッシャー付き自転車やBSのロードマン、入社後にラリーで乗っていた初代RX-7、好きなクルマで紹介されたランチャストラトス…など、スーパーカーブームの洗礼を受けた40代以降の世代には（私もその一人です）、とてもツボにハマったお話で、スライドが変わるたびに「おお？」という感嘆や、時折ユーモアも交えてのお話に笑いが…、と参加された皆さん、興味深く聞き入っておられているように感じました。



好きなクルマで挙げておられた、アルファロメオ・ティーポ33は改めてみると、とても美しいラインや面で構成されており、デザイン本部長の先輩でもある福田さんも大好きなクルマだということも納得です（影響されすぎて最近、ティーポ33のミニチュアを買ってしまった私…）。

最近でも、小学5年生の息子さんとカートレースを楽しまれたり、マツダ社員とのロードスター耐久レースや、スウェーデンの凍った湖の上で、氷点下30℃の中をオープン（笑）で走る氷上レースに参加されたり…、また「日本中の高い山は殆ど登りました」という山登りなど、非常にアクティブに活動されておられる様子。

私の中ではデザイナーって、インドアで静かに絵を書いているイメージでしたが、人を動かすデザインというのは、外で体を動かして得た体験が活かしているのかもしれないね

そういった前半の話を受けて、後半はマツダにおけるデザインテーマ「魂動」の紹介に移りました。

「生物が見せる一瞬の強さや美しさ」をモチーフにした、今の「魂動」デザインが、チーフである前田さんの「人と成り」、とリンクして理解できたように思います。

外での写真撮影を挟んでの第二部では、恒例になりつつあるスケッチブックトーク。



「ロードスターでこんなことをしました」「ロードスターにいつまで乗る？」といった質問に対して、フロアから出た答えを司会の会長がひろっていく（イじる？）スタイル。

個人的に興味深かったやりとりが二つ。

一つ目は前田さんからフロアに対しての、「次期ロードスターの姉妹車となる、アルファ版のロードスターが出たら、買うという人」という質問。

数名（その中にはスタッフも居たような…）が挙手したのを見て、「わかった、もう来ねえ」「絶

対来ねえ…」と悔しそうに仰っておられました

とはいえ、午前の部が終わる頃には「（ロードスターのデザインを）ここに描きたくなくなってきたな…」とウズウズされており、次期ロードスターは相当自信のあるデザインであることは間違いなさそうです

おそらく完成していると思われる次期ロードスターのデザイン、一日も早く見てみたいな…と感じています。

もうひとつは、フロアから前田さんに対しての、「今の若者をどう思いますか？」という質問。

「(車離れが叫ばれる今の若者の現状は) 夢中になれるような車を作ってこなかった、我々メーカーの責任でもある」と答えておられたのが印象に残りました。

続けて「マツダでも20代でモータースポーツに出ている社員は多いし、若者には期待している。50代以降にも元気な方が多い(広島からご夫婦でロードスターに乗って参加されている福田さんは70代!)。でも30代後半から40代前半に元気がないので、このあたりに頑張ってもらいたい…」と。

前半で紹介されていたスライドの中で、前田さんの二人のお子さんがお父さんのエリーゼを眺めている姿が映っていました。目を三角にして、お父さんのカートに必死についていこうとするという、息子さんたち。

「順調にクルマ馬鹿に育っています」と仰っておられたお子さんたちの、将来が楽しみ…と感じる一方、同じ小5の息子を持つ40代の私、クルマ好きの教育を怠っていたかも…、と反省させられました。

東京モーターショーでの展示でもなされたように、「自動運転の車」が現実味を帯びてきた昨今、将来も「運転して楽しい」クルマが作られるためには、クルマ好きな若者がいないといけないのだなあ、なんてことを感じた講演となりました。

(おきなわ)

では、以下は例年通りスタッフからの報告を。

「駐車場より」

駐車場係の前田です。今年もミーティングにご参加いただき、ありがとうございました。今さら申し上げるほどのことでもないんですが…、我々駐車場係の仕事は大きく分けてふたつ。ひとつは、皆さんの自慢の愛車を安全かつスムーズに、そしてカッコよく並べること。駐車方法については毎年検討しています。来年はさらに、皆さんの協力も仰ぎながら、カッコよく停めさせていただきます。そしてふたつめは、皆さんがホールで講演を聞いている間、皆さんの愛車を見守ること。時折観光で訪れた方々が興味深そうに見学し、気に入ったクルマの前で記念撮影、なんてこともしばしば。またお年寄りの方が、スタッフに「これは何の集まりか？」と訊ねられたり…、ほのぼのする場であったりもします。なので皆さん、来年もまた清里に来て、ロードスターの楽しさをみんなに伝えましょう。来年も待ってま〜す。

(まえだ)



今回はいろいろありました。そう、いろいろと・・・

「懺悔の時間」

よくよく思い出してみるまでもなく、毎年この時期（清里終わった後）の原稿って、何かしら「やっちゃった」ことや「やりそこなった」ことについて、皆さんにごめんなさいしてるのです。20年以上ほとんど同じ役目を仰せつかっているのに、進歩が無いとか成長していないとか。

でも、毎年同じような「やっちゃった」や「やりそこなった」が起きているかというところというわけでもありません。毎年何かしら違っている。これはイッタイ成長なのか退化なのか、探求するのは切なくなるのでやめておきますが。そして、今年はイッタイ何をしでかしたかというところ、

ミーティング当日の朝、これから駐車場の対応でてんでこ舞いになるぞっていうその時、名簿が無いことに気がつきました。そう、参加される皆さんの、エントリー番号から名前から住所からクルマのナンバーまで書かれている「参加者名簿」です。それはもう事務担当として、スタッフとして一番やってはいけないこと！気づいた時の私は顔面「ラグナブルー」だったに違いありません。自分じゃ見てないけど。

パソコンを入れたかばんと一緒に仕舞っていたはずのA4書類フォルダー（色はブリリアントブラック）ごと見当たらない。さて・・・頭が自分でも驚くくらいのスピードで、でも無駄にぐるぐる回り出します。前夜は確かに手にしていた記憶がある。ってことは家に置いてきたのではなく清里で見失った。前夜、メインホール裏の応接セットでパソコン引っ張り出したはず。すると其の時はいったんかばんから出した、か？その後かばんにちゃんと入れた？・・・覚えてない。かばんは宿泊先のコテージに持ち帰って枕元に置いた。これは覚えてる。今朝、別の用事で受付担当のいるコテージまで行ったとき、ついでに名簿を渡そうとして、でもまだ時間が早すぎるからやめたような・・・いやあ不確かだなあ、ちゃんと覚えてない。取りあえず改めてかばんを再確認しても、やっぱり入っていない。ふう。

イッタイどこでなくした？一番怪しいのは前夜か？じゃあメインホール裏の応接セット！行け行け！捜せ捜せ！・・・無い。んじゃ、自分の寝たコテージに忘れたか？行け行け！捜せ捜せ！・・・無い。もしかして既に誰かが拾い上げて清泉寮の方に預けてるかも？！聞け聞け！・・・無いって。うう、万事休す・・・

頭の中はクリスタルホワイト。ああ、俺のERFC歴も事務担当歴もここで終わりか・・・まあそうだ、これまでもいろいろやらかしてきた。エントリー見落とししたり、ハガキ無くしたり、返事し間違えたり・・・もう限界なんだよ。あれ？そもそも来年やるのか？！

いやいやそんな感慨に浸ってるヒマは無い。紙の名簿が無いなら無いなりに受付できるようにしなきゃ！頭の中を一旦リセットして、慌ててパソコンに保存してあったはずの名簿データを引っ張り出して、受付担当に引き継いで、何とか開始時間にはギリギリ間に合った！そしたら手薄なはずの駐車場に戻って本来やるはずだった誘導へ復帰。無事に皆さんにご入場いただいたのを見届けて、駐車場を離れもう一度メインホール裏やらコテージやら車の中やら思いつくままに再捜索・・・無い。無い。何で無いのよお！ああ、こんなに気持ちの良い「マリナーブルー」な空の下なのに、私の気持ちだけは「シルバーストーン」ならぬどんより曇り空。



そうこうしている間も、集合写真を撮ったり、お昼を食べてたり、イベントは順調に進行していく。頭の片隅で名簿を気にしながらも、お馴染みさんや初めての方や通りがかりの人や、とにかくいろんな人とお話しして、じゃんけんして・・・

イベントは順調に終わろうとしている。けれど、結局名簿みつからないのかあ、皆さんごめんなさい、もしかして悪用するような「鹿」や「ヤマネ」は八ヶ岳山麓には居ないはずですから・・・なんて極限まで落ち込んでいたら、清泉寮の方が見つけて届けてくださいました！そう、あった、あったのよお！その時の私の目は間違いなくクラシックレッド！うれし涙にかすむ三角の屋根！

心のそこからお礼を言って、気持ちを落ち着かせてから発見場所を聞いてみると、受付担当が宿泊していたコテージの前に落ちていたとか。ああそうなのね、やっぱり寝ぼけた頭のままバタバタいろんなことしちゃいけないですね。でもそれより何より、なくなっていなかったことで相当ほっとしたのは言うまでもありません。

ほんと、こんなこと繰り返してちゃいけないです。反省しきり、、、ですが、きっとまた来年担当したら何かしでかすのではないかと、不安というか確信してるというか・・・どうします？それにしても。ああ情けない。。

(つのやま@東)

そんなわけで引き続き・・・

「大汗の当日受付より」

ミーティング当日の受付担当、つのやま@にしです。今年はさほど寒くもなく、すっきり晴れはしませんでした。幸い雨雪も降らず、楽しんでいただけたかと存じます。

ワタシの受け持ちとはいえば・・・紆余曲折もろもろの事情で（事前受付担当の赤裸々な手記をご参照下さい）いきなり受付を電子化（笑）することになったおかげで皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ドタバタしてお待たせしてしまった方もかなりおられました。どうにかなったのは、ひとえに皆さんの寛大さのおかげ。本当にありがとうございました。

まったく反省しきりでございます。

毎年受付をサポートしてくれている前田虎太郎君が今年は中学生となり、そんなどうしようもないオトナをしっかりと支えてくれたのも本当に有難かったです。

「おばはんはもう引退でっしゃろか・・・」なんてことを思いつつ、今年のミーティングも無事に終わることができました。次回は・・・まあ、もしやったらの話ですが・・・もうちょっとしっかりがんばりたいと思います。

それから、お土産を下さった皆様、ありがとうございました！

丸尾さん、どら焼きとーっても美味しかったです！スタッフにバカ受けでした。

駒場さん、いつもいつも素敵なグッズをありがとうございます！

吉野さん、新米しみじみ美味しくいただいております！

この場を借りて御礼申し上げます。

（またよろしくね、って言ってるわけではない、です・・・よ？）

清里でみなさんにお会いするたび、もっとロードスターを楽しまなくちゃ！とつくづく思います。今回もまた新しい刺激をたくさんいただきました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

(つのやま@西)

そんな中、2年振りにお弁当係で現場復帰のさっちゃんから。

「清里弁当に愛を込めて」

「もしかして寒いかも」という可能性を否定できないのが山の天気。防寒対策品をあれこれ携えての清里入りでしたが、良い意味で裏切られた今年の清里ミーティング。本当にポカポカと暖かかったですね♪実は昨年、娘の発熱で清里行きを断念したため、2年振りのミーティング参加となった私。メンバーのカナさんが「ほらほら、これ着てね」と貸してくれたタイ風の鮮やかな青いエプロンとキャップをつけ、身を引き締めてお弁当タイムを迎えました。（え？引き締まってなかった？いえいえ、なにぶん脂肪が厚いので、精一杯引き締めてたんですよ、実は。それであんな感じなんです(^_^;)）皆さんにお弁当を手渡し出来て、皆さんの笑顔に会えて、「ありがとう」を沢山頂いて、本当にうれしかったです♪



暖かさに加え、山並みも大変美しく、駐車場でのお弁当タイムも和やかだったと聞いております。今年の清里弁当はいかがだったでしょうか？毎年お弁当を作って下さっている丸政さんに、今年は「ぜひ甲斐の特産物を入れて下さい！」とお願いしたところ、リクエストにこたえて、甲斐地鶏、巨峰餅、高原レタス、などを入れた清里弁当を用意して下さいました。



「おいしかったですよ〜」「毎年楽しみにしているんです」など好評の声も「鮭がちょっとしょっぱかった!」「鮭の下にスパゲティってどう?笑」といった御意見も「ふむふむ、なるほど〜」と有難く頂戴し、気合を入れて、次回清里弁当に生かしていきたいと思えます!(…とはいっても気合を入れて作るのはお弁当屋さんな訳ですが♪)来年も清里でお会いしましょう!!

(さっちゃん)

そんなさっちゃんからは愛娘のしーちゃんについての報告も。

一昨年はほぼ一日おんぶで過ごした娘、栞里も、昨年の発熱による自宅待機を経て3年目、今年は一人前に「やる気」で清里にやって参りました。前日は会場の椅子並べ(10脚ほど)お土産セット作り(当日パンフ1枚を念入りに折りました)気分だけはお手伝いした満足でいっぱいの中に当日を迎えました。朝、メインホールの入口で「おはようございま〜す♪ようこそ〜。」とエントリーされた皆様にご挨拶するのが今年のお仕事。皆さまから「かわいいね〜」「いいこだね〜」と声を掛けて頂き大満足!



写真は本文とは関係ありませんw

「しーさん、かわいって(*^o^*)」とご満悦。無事に清里を終える事が出来ました。声を掛けて下さり、温かく見守って下さった皆様、ありがとうございます。「しーさん、明日も(来年という時間感覚がないのでスママセン)いらっさいませえ、ようこそお、こちらでえすってする!」と来年に向けて張りきっています。来年もまずは発熱せず参加できるように(笑)したいです!

(さっちゃん)

そしてまえた家の長男こたろう君は、土曜日に学校帰りに新幹線まで使って清里入り!えらい!

ボクも今年から中学生です。土曜日に学校があったので今年の清里にはひとりで電車で来ました。だから土曜日の準備は手伝えませんでした。何もせずに当日を迎えてしまいました。なので当日は出来るだけお手伝いをしようと思って受付のお手伝いや連絡係、何でもがんばりました。今年はスタッフとして去年より清里ミーティングに加担出来たと思うので嬉しいです。(加担、じゃなくて貢献、でしょ?)ゆうや兄ちゃんと一年振りに会って遊んだり、ソフトクリームを食べられたのも嬉しかったです。来年はもっと加担出来るように頑張ります!(貢献、ですな)

(こたろう:添削はさっちゃん)

最後は清里ミーティングでは超常連、静岡は三島にお住まいの丸尾さんからのレポートです。

「エアコン修理の顛末記(^.^)」

平成25年11月3日、元年式NA6CE、ロマンスグレーのロードスターが、通り慣れない夜道を徘徊しながら家路に向かっていました。

何度清里ミーティングに通ったことだろう。来年も来るのだろうか?

トンネル内で車内循環にしても、車中はエアコンが効き快適である。

無事に家に着くと、エアコン修理の請求書が届いていた・・・

昨年7月、下界の暑さを逃れ箱根山中でロードスターを走らせていたときである。箱根も温暖化か？と思わせる暑さに、エアコンがほとんど効いていないことに気づく。

いつものモータースで、初めてR12のガスをチャージしてもらおう。20年以上乗って初めての補充なので、これでしばらくは大丈夫だろう。

そして今年の夏の箱根山中で、登りでは効いていたはずのエアコンが、全く効かなくなり、汗でバックレストから背中を浮かしながら帰宅。

いよいよエアコンの修理にふみきった。

エアコンの修理にも色々あるようである。ガスがR134仕様だとNB用のエアコンキットがスワップできるようだ。「リビルド＝安い」という、私の単純な思考と期待により、基本リビルド品を使いガスはR12のままという方向に決定。安く上がってくれ！と祈願する。

少し暑さが和らいだ9月末にモータースに入庫した。いくら何でも清里までには間に合うだろう。清里の参加申し込みも済ませ、10月も中半なのに完了の連絡が無い。どうやら修理がモグラたたき状態のようで、1つ直すと他が壊れるを繰り返していたようだ。

10月27日に無事車両引取を済ませ、気持ちは清里ミーティング・モードになっていった。支払いのことは忘れて・・・

今回、部品代＋工賃で約13万円。これが清里前にわかっていたら、今回のミーティングは少しローテンションになっていたはずだ。幸か不幸か、同行する予定の妻が風邪を引き、参加取りやめ＆後泊予定の温泉旅館キャンセルとなった。浮いた金額を修理代に回したことは、もちろん妻には内緒である。

(まるお@三島)

『編集後記』

と言うわけで、清里ミーティング前にエアコンの故障に気づきながらもいまだに修理に踏み切れていない豆蔵です。13万かぁ・・・(^_^;)

あ。清里ミーティングに御参加の皆さん、ありがとうございました。

今年はデザイン本部長の前田さんがいらっしゃったと言うことで新型の話が聞けるかと会場で期待された方もいたかもしれませんが、さすがに前田さんだつてこの大事な時期にそんな話に触れるわけにもいかないですよw

じゃあお話が面白く無かったのかと言えば、決してそんなことはありませんでしたね。それこそ今回の前田さんのお話がおそらく来年には発表されるであろう新型の話のプロローグだと思えば、きっと来年の今頃は「あの話はここにつながっていたのか！」と納得することもある・・・かもしれません。もちろんないかもしれませんが。(^_^)

さて、来年は・・・鬼が笑わない頃になったら考えましょうか。

ではまた、清里でお会いしましょう。



(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



ERFC Newsletter
ユーノスロードスターファンクラブ通信
2013 vol. 3 2013年12月25日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp